

BK46型バイメタルトラップ

呼び径15～25

取扱説明書

フシマン株式会社

〒140-0011

東京都品川区東大井 2-13-8 ケイヒン東大井ビル 2F



TEL 03-5767-4200 (営業部代表)

FAX 03-5767-4181

この度は弊社製品をお買上げ頂きまして誠にありがとうございます。お求めの製品を正しくご使用して頂くために、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

◎安全に関するご注意

この取扱説明書では、安全に関する注意事項のランクを下記のとおり「警告」・「注意」として区分しています。

- (1)  **警告** : 取扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される場合。
- (2)  **注意** : 取扱いを誤った場合、使用者が軽い、若しくは中程度の障害を負う危険が想定される場合、又は物的損傷・損壊の発生が想定される場合。

次の安全上の注意事項にご留意ください。

警告

1. 分解・点検時は蒸気ラインを閉じ、また背圧のある場合はドレンのラインも閉じて、ブロー弁を開くなどして内圧を大気圧にしてください。
2. トラップが常温になったことを確認後、プラグを軽く緩め、内部のドレンを逃がしてから、ふた及びプラグを外します。

◎荷ほどきの際の確認事項

製品がお手元に届きましたら、下記の点をお調べください。

- (1) 銘板に表示されている型名及び呼び径がご注文どおりのものか、ご確認ください。
- (2) 製品の中に異物が入っていないか、輸送中に破損していないかお確かめください。

防止処置は施してありますが、念のためお調べください。

万一不具合な点がありましたら、ご注文先を通じ当社にご照会ください。

まえがき

この取扱説明書は、BK46型バイメタルトラップをご使用頂くためのものです。ご使用になる前にこの取扱説明書を最後まで良くお読みになり、内容を理解されてから実際にご使用ください。また、この取扱説明書は必要な場合はいつでも見られる場所に保管してください。

目 次

1. 構造	3
2. 取付け	4
3. 保守	4
4. 分解・点検	4
5. 再組立	4
6. 調整	5
7. 交換部品	5
8. 予想される故障, 原因及びその対策	5

1. 構造

図1を参照してください。

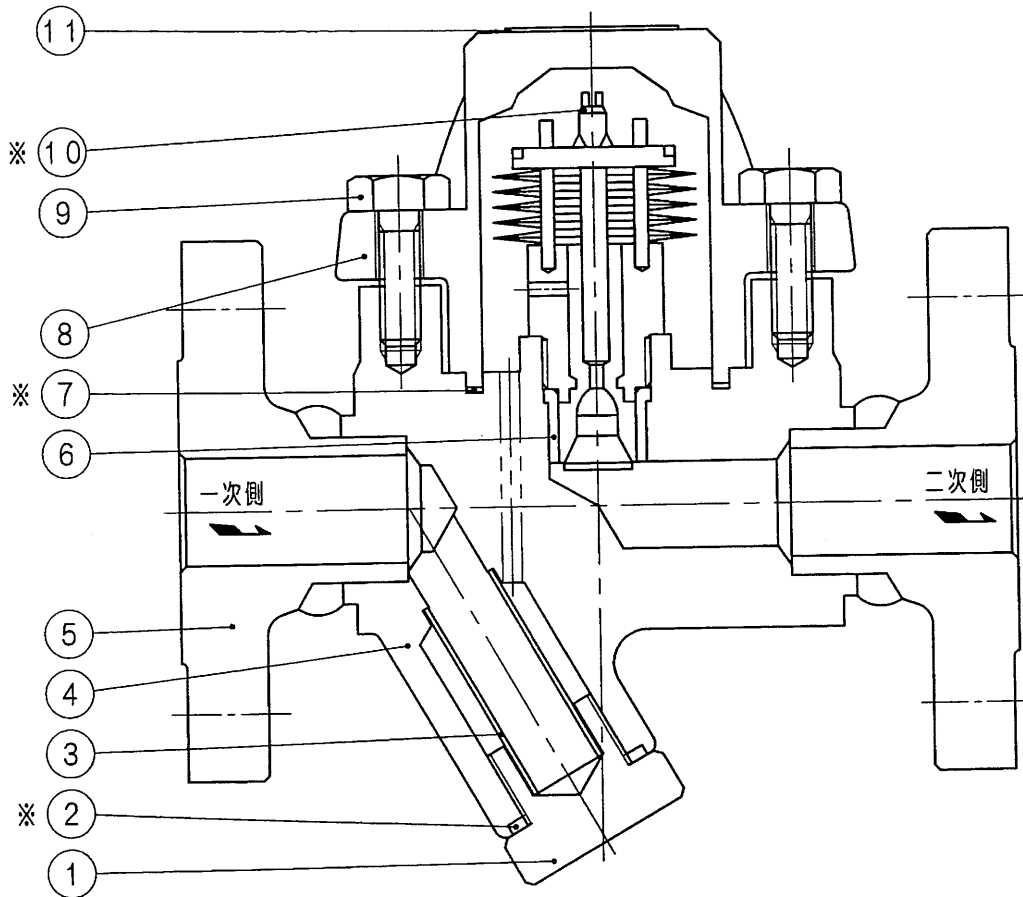


図1 構造図

部品名

1	プラグ	5	フランジ	9	六角ボルト
2	ストレーナガasket	6	ノズル輪	10	レギュレータ
3	ストレーナ	7	ふたガasket	11	銘板
4	弁箱	8	ふた		

備考1. ねじ込み形及びソケット溶接形も内部構造は同じです。

2. ※印がついている部品は交換部品です。

3. 各部の締付トルクは下記によってください。

(1) プラグ : 120N・m

(9) 六角ボルト : 25N・m

(10) レギュレータ : 90N・m

2. 取付け

- 2.1 (4) 弁箱側面の矢印に流れ方向を合わせて配管してください。
- 2.2 トラップは、どの様な姿勢に取り付けても構いませんが、(8) ふた・(1) プラグを取り外すために(8) ふたの上方に70mm以上、(1) プラグの下方に50mm以上のスペースが必要です。
- 2.3 ソケット溶接形のトラップを配管に溶接するときは、電気溶接で行います。熱をかけ過ぎて、(7) ふたガスケットを傷めないよう手早く溶接してください。(4) 弁箱の過熱を防止するため(4) 弁箱の溶接部近辺に“クールヒート”を塗布するのも一方法です。もしできれば、(8) ふたを外して、(7) ふたガスケットを抜き取り、溶接後に(7) ふたガスケットを装着するようにすれば一層安全です。溶接後は(9) 六角ボルト及び(1) プラグを均等に増締めしてください。
(各締めトルクは、図1. 備考3を参照してください。)
- 2.4 蒸気を初めて通気したときは、数時間後に(9) 六角ボルトを均等に増締めしてください。
(締めトルクは図1. 備考3を参照してください。)
- 2.5 寒冷地においては縦配管に出口を下にしてトラップを取り付け、大気中にドレンをを排出するようにすれば配管の凍結を防止できます。

3. 保 守

BK46型バイメタルトラップは、特別な保守を必要とするものではありませんが、(3) ストレーナのごみによる目詰りなどは性能に悪影響を与えますので定期的に内部の清掃を行ってください。

4. 分解・点検

警告

- 4.1 蒸気ラインを閉じ、また背圧のある場合はドレンのラインも閉じて、ブロー弁を開くなどして内圧を大気圧にしてください。
- 4.2 トラップが常温になったことを確認後、(1) プラグを軽く緩め、内部のドレンを逃がしてから、(8) ふた及び(1) プラグを取り外します。(図2参照)
- 4.3 (3) ストレーナを取り出して清掃してください。
- 4.4 (10) レギュレータを取り外し弁体、弁座の当り面の摩耗や損傷を点検してください。

5. 再組立

再組立は分解時の逆の順序で行いますが、このとき次の事項に注意してください。

組立前には各部品をきれいに掃除してください。

- 5.1 (4) 弁箱・(8) ふたのシール面をきれいに拭き、新しい(7) ふたガスケットを入れてから(8) ふたを取付けます。
- 5.2 (9) 六角ボルトのねじ部に焼付防止剤を塗布して、図1の備考3の締めトルクで締めてください。
- 5.3 (1) プラグのシール面をきれいに拭き、新しい(2) ストレーナガスケットを入れてから(1) プラグのねじ部に焼付防止剤を塗布して、図1の備考3の締めトルクで締めてください。
- 5.4 (10) レギュレータに損傷があれば新しい(10) レギュレータと交換し、ねじ部に焼付防止剤を塗布して、図1の備考3の締めトルクで締めてください

6. 調整

工場出荷時にトラップは円滑な作動を行うよう既に調整がなされており、特に設定をし直す必要はありません。

なお、基本調整位置では飽和温度より数度低い温度でドレンが排出されるようになっております。

7. 交換部品

7.1 交換部品は (2) ストレーナガスケット、(7) ふたガスケットと (10) レギュレータです。

7.2 (2) ストレーナガスケットと (8) ふたガスケットは、分解時交換してください。

7.3 (10) レギュレータは、損傷があれば交換してください。

8. 予想される故障・原因及びその対策

故 障	原 因	対 策
生蒸気が漏れる	バイパス弁の漏れ (トラップの前後弁を閉じても漏れが止まらなければバイパス弁が原因)	バイパス弁の修理又は交換
	ガスケットの破損	ガスケットを交換する。
	フラッシュ蒸気の見誤り	
ドレンの出が悪い	ストレーナの目詰り	分解清掃
	配管の錆詰り	配管点検

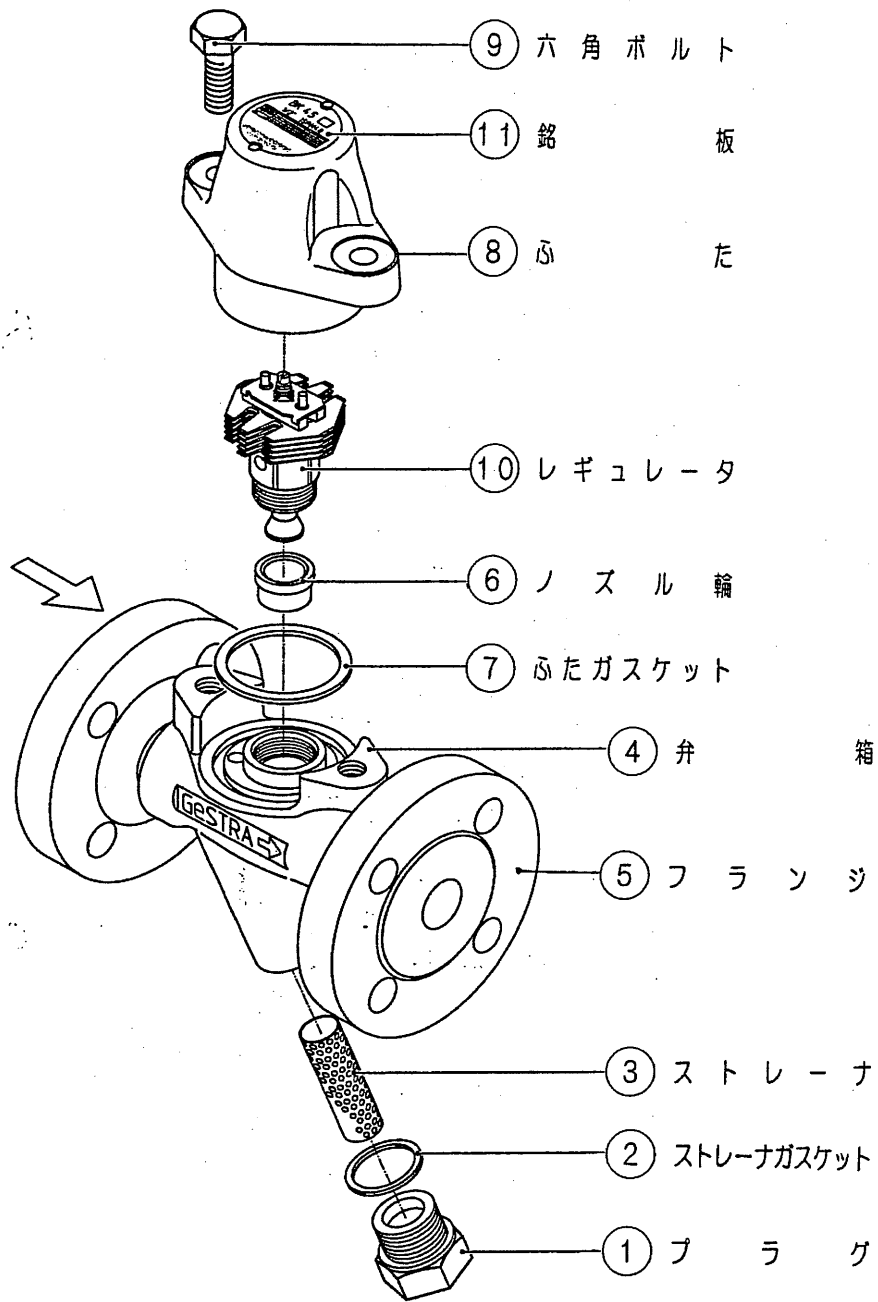


図2 分解・組立図

20.10.21		BK46型バックフロー防止器	
EN/EN		取扱説明書	
Tu		呼び径15~25	
フシマン株式会社		H-4F5376a	